

[059_05/06] 経済学研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/4492923>

出版情報：経済学研究. 59 (5/6), 1994-06-10. 九州大学経済学会
バージョン：
権利関係：



目 次

序 下山教授・逢坂教授の人と学問	森 本 芳 樹
1930年代日本農村の医療利用組合運動と国民健康保険法の成立	相 澤 與 一 (1)
20世紀社会主義と労働者階級の世界史的能力	荒 又 重 雄 (21)
—— 21世紀社会政策理論のために ——	
わが国労働統計における失業概念の形成に関する若干の考察	加 藤 佑 治 (33)
「日本的雇用慣行」とホワイトカラー	牧 野 富 夫 (47)
フランス人民戦線期の労働基準政策	向 井 喜 典 (61)
—— その改革と経済的障害の軌跡 ——	
非営利組織と社会経済制度問題	藤 田 暁 男 (79)
—— V・ペストフ (Pestoff) の所説の示唆するもの ——	
独占資本の資本蓄積と価値法則	清 野 良 榮 (95)
「バブル」崩壊と不況	中 野 元 (111)
法人資本主義における形態と実態	安 田 均 (133)
J. S. ミルの遊休資本の理論	諸 泉 俊 介 (149)
—— 『試論集』第二論文の検討 ——	
マクロ動学分析の方法	関 根 順 一 (165)
日本資本主義の技術特性についての一試論	久 野 国 夫 (173)
確率的逐次割当問題に関連した諸問題について (I)	中 井 達 (185)
地域間格差の三形態と国土政策へのインプリケーション	山 崎 朗 (217)
西欧中世初期荘園制の諸側面 (III)	森 本 芳 樹 (231)
—— 最近5年間における農村史の研究状況 ——	
サー・ウィリアム・シートンのスコットランド経済開発論 (II)	関 源太郎 (245)
中世後期都市デュレンにおける支配とツunft (I)	田 北 廣 道 (265)
—— ガッフェル体制の成立とその意義 ——	
現代制度主義経済学ノート	磯 谷 明 徳 (287)
—— 新制度派, 現代制度派, レギュレーション ——	
エンティティ・キャピタル・モデルの特性について	清 水 博 (301)
下山房雄教授略歴及び著書・論文目録	
逢坂 充教授略歴及び著書・論文目録	